



# こもれび

Nagasaki Prefecture Shimabara Hospital

2016 秋号



地域に信頼され、親しまれる病院を目指して、みなさまと当院をつなぎ、森に差し込む“こもれび”のような、ひとすじの光をお届けしたいと思います。

しまばら芝桜公園「秋桜まつり」

## Contents

- ・専門医に聞く  
胃癌とヘリコバクター・ピロリ除菌療法の最近の動向  
消化器内科 診療部長 山西 幹夫 .....2・3
- ・連携医療機関のご紹介  
松本内科医院 / しろたに内科クリニック .....4
- ・部門 Topics  
検査科 インフルエンザ最新検査器導入 .....5
- ・部門 Topics  
地域医療支援センター 島原メディカルケアねっとご存知ですか? .....6
- ・新任医師紹介 .....6
- ・平成28年度 長崎県看護学会学術集会にて36演題から奨励賞を  
外来看護師 森塚 祐揮さん が受賞! .....6
- ・部門 Topics  
リハビリテーション科 脳卒中急性期におけるリハビリテーション .....7
- ・外来診療一覧 .....8

## 病院理念

患者さん本人の立場に立った医療

## 病院指針

1. 早期診断、早期治療、早期リハビリテーションを医療の基本指針とします。
2. 診療にあたっては、インフォームド・コンセントを基本にして、患者中心の医療を展開します。
3. 早期退院と医療の継続を目的に病診連携、保健福祉の連携など、地域につながるチーム医療を展開します。
4. 地域医療を支援する施設として、常に医療水準の向上に努めます。
5. 経営基盤の確立に努め、協働、相互扶助、相互啓発を職場の規範として活力ある病院づくりを進めます。



# 消化器内科 診療部長 山西 幹夫

Mikio Yamanishi

## 胃癌とヘリコバクター・ピロリ除菌療法の最近の動向

ヘリコバクター・ピロリ(通称 ピロリ菌)は、1983年にオーストラリアの R. Warren と B. Marshall により発見されて以来、様々な研究がおこなわれて胃がんとの関連も証明され、国際がん研究機関 (IARC) により1994年に明らかな発癌物質と認定され、さらに2014年には胃癌予防としてピロリ除菌による対策が推奨されるに至っています。

日本国内においては、2000年に胃潰瘍・十二指腸潰瘍に対する除菌療法が承認され、以後徐々に適応拡大され、2013年にピロリ菌感染胃炎に対する除菌療法が承認され、すべてのピロリ菌感染者に対する除菌が可能となっています。同時に胃癌リスク検診 (ABC 検診) も多くの自治体で導入されるに至り、除菌療法が盛んに行われるようになり、胃癌撲滅へ向けた動きが活発になっていま



胃の中で生きている  
ヘリコバクター・ピロリ菌

す。当院でも積極的に除菌療法をおこなっておりますが、それにまつわる最近の動向や、注意事項を紹介します。

最初に ABC 検診後に紹介された場合ですが、中には即座に除菌療法を希望される方もおられますが、まずは現在胃癌が無いかの確認が必要です。その為に胃内視鏡検査を行います(保険診療上もピロリ菌感染胃炎で除菌を行う場合は、胃内視鏡検査は必須とされています)。同時に萎縮性胃炎の状態を確認し、胃癌発生リスクを評価することも大事です。そのうえで、除菌療法を行います。

除菌療法は制酸剤と2種類の抗生剤を組み合わせ、1週間内服して行います。制酸剤としてはプロトンポンプ阻害薬 (PPI) を使用していますが、より酸抑制効果が強いとされるカリウムイオン競合型アシッドブロッカー (P-CAB) が最近登場しており、使用されるようになっております。抗生剤は現在国内で承認された方法としては、一次除菌にはアモキシシリン (AMPC) とクラリスロマイシン (CAM) を使用します。一次除菌無効の場合は AMPC とメトロニダゾール (MNZ) で二次除菌を行います。一次除菌の除菌率は PPI のレジメンで70~80% 余り、P-CAB のレジメンで約90% であり、二次除菌まで合わせると90% 以上の高い

除菌率が得られます。一次除菌無効例の多くはCAMに対する耐性菌のためと言われています。日本ヘリコバクター学会による「H. pylori 感染の診断と治療のガイドライン」2016改訂版では、90%以上の除菌率が期待できるレジメンを第一選択のレジメンとして推奨するのが順当とされ、薬剤感受性試験の実施と、最も高い除菌率が期待されるレジメンを推奨するとされ、今後除菌療法の在り方に変化が現れる可能性も出てきました。

感染診断を行う場合の注意事項として、胃切除後の方や、PPIなどの制酸剤内服中の場合は検査によっては偽陰性となることがあります。また、除菌療法を行う場合は、腎機能障害がある方や、併用薬がある場合は薬剤によっては注意が必要です。既往疾患と常用薬の確認が必要です。お薬手帳をお持ちの場合は持参されることをお勧めします。

除菌後の問題として、除菌により胃癌が完全に予防できると誤解される方がいることがあげられます。除菌により胃癌の発生リスクは約1/3に低下しますが、依然として未感染者より発生リスクは高く、長期にわたりそのリスクは

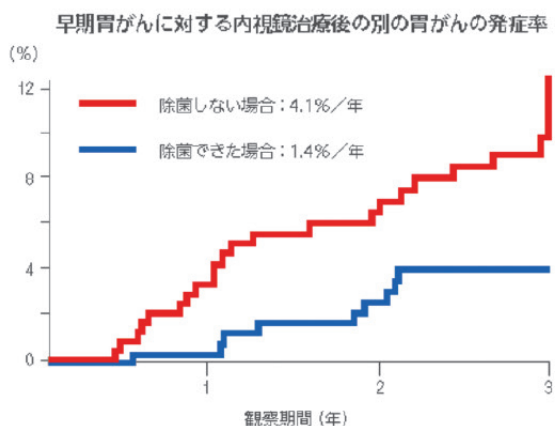
残存するため、除菌後も定期的な胃癌検診の受診が必要とされ、内視鏡による検診が勧められています。

一方では、除菌後1年以上経過後に発見される除菌後発見胃癌については、未除菌で発見される胃癌にくらべて肉眼的な診断が困難な場合も多いなどの問題もあり、最近ではその臨床病理学的特徴や、除菌後の経過観察の体制など、関連する学会の中でも盛んに討議されているところです。

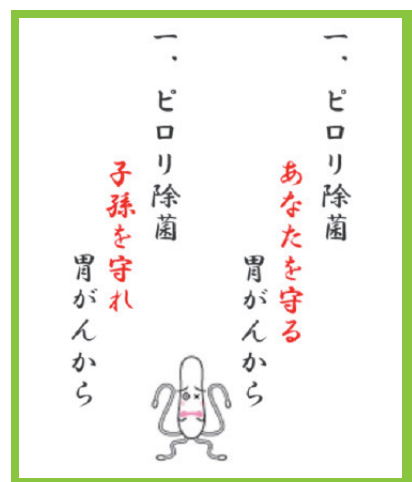
除菌により期待される効果の一つとして、感染経路の抑制があげられます。ピロリ菌は幼少時に経口的に感染して慢性化すると言われており、主な感染経路としては家族内感染があげられます。親世代の除菌により感染経路を遮断して、子世代の感染予防が可能となります。

最近では胃癌予防の視点から、青少年期での感染スクリーニング検査と除菌治療が検討されており、今後の動向が注目されます。個人の胃癌予防と次の世代の感染予防効果が期待されるわけです。

多くの胃癌が、除菌により予防されることを願っています。



Fukase K, et al: Lancet 2008



# 連携医療機関のご紹介

これからの医療は役割分担と連携が大切！  
いつもご協力いただいている地域の医療機関をご紹介します。

## 松本内科医院

院長 松本 康 先生

雲仙市国見町神代乙257-1 ☎0957-65-3333

### 地域医療に貢献すべく

当院は平成16年4月に地元の国見町に開院して以来、地域医療に貢献すべく尽力して参りました。院長は49歳、スタッフの平均年齢は30代前半と非常に若く、活気とやる気にあふれています。特に在宅医療には力を入れており、平日午後は毎日訪問診療に出かけています。島原病院の皆様には、急変患者様や精査入院を要する場合にいつも大変お世話になっています。また、がん診療連携パスや、御自宅で最期をお迎えになりたいと希望されるがん末期の患者様をご紹介頂くことも多々あり、緊密な連携を取っていただき本当に感謝しています。

私は、開院前には今話題の築地市場前にある国立がんセンター中央病院（現 国立がん研究センター中央病院）でがんの治療研究を行う呼吸器内科医として修練して参りました。

現在は内科、呼吸器科をはじめ小児科の診察、また各種予防接種、特定健診等のプライマリーケアも積極的にを行っています。

今後もスタッフ一丸となり地域医療に貢献すべく邁進して参りたいと考えています。より一層のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。



## しろたに内科クリニック

院長 城谷 哲也 先生

島原市北門町103-5 ☎0957-65-0222

### 地域医療のために 特に糖尿病治療での貢献を目指して

当院は、私の両親、祖父母が島原半島出身であったというご縁で、平成22年6月より島原市に内科クリニックとして開院いたしました。地域の皆様に愛される誠心誠意の医療を心がけてスタッフとともに日々頑張っております。

内科一般、特に糖尿病、高血圧、脂質異常症などの生活習慣病と循環器疾患、甲状腺疾患を中心に診療を行っており、糖尿病専門医として糖尿病の確実な治療と生活習慣病の改善のための指導、教育を心がけ、合併症発症予防と合併症の増悪を起こさないように日ごろから力を注いでおります。

開院以来、長崎県島原病院の先生方およびスタッフの皆様には、緊急を要する重症患者さんの入院依頼や専門外の患者さんについてのご相談および診察依頼をご多忙にもかかわらず快くお引き受けいただき、また病診連携においても大変お世話になっており深く感謝申し上げます。今後も日々の研鑽を怠らず、微力ではありますが地域の医療に少しでも貢献できればと思っています。



# インフルエンザ最新検査器導入

検査科 臨床検査技師 太田 優一

## 1. インフルエンザと判定できるのは症状が進んでからでした・・・

インフルエンザが流行する季節。インフルエンザに感染した初期の段階で検査を受けても「明日また来ててください。」と告げられ、そして翌日同じ検査を受け、インフルエンザと診断された経験ありませんか？

従来の検査方法では、時間が経過してウイルスが体内でたくさん増えるまでインフルエンザと判定することができませんでした。現在多くの医療機関で用いられているインフルエンザ診断キットの検査方法は、ウイル



スに目印となる金コロイドという物質を結合させ、人の目で「陽性」「陰性」の判定を行います。しかし、感染初期でウイルスが少ない場合はその目印を見つけることができず、本来「陽性」であるのに「陰性」と結果が出る場合があります。

## 2. 高感度検出機器導入によりウイルスが少ない感染初期でも見つけることが可能となりました！

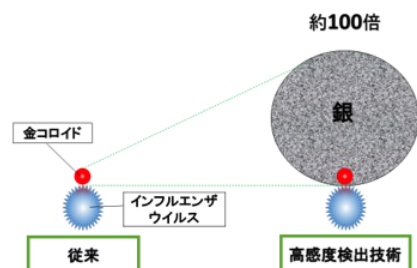
そこで当院は、金コロイドという目印に銀を吸着させて、さらにその銀を大きくする高感度検出技術を可能にしたクイックチェイサー®Auto Flu A、B (ミズホメディィ)およびクイックチェイサー®Immuno Reader (ミズホメディィ)を導入しました。この検査機器により、インフルエンザウイルスに今までより大きな目印をつけることで、わずかなウイルス量でもインフルエンザを見つけやすくなりました。

これからは、診断が困難だった感染して間もないインフルエンザを「陽性」と判定でき、感染早期からの治療が可能になります。

クイックチェイサー® Immuno Reader と Auto Flu A、B



～測定原理～



## 3. インフルエンザは早期診断、早期治療が大切です。

感染したら誰もが早く治療を受けたいインフルエンザ。特に小さな子供や、高齢者の場合は重篤な症状を引き起こすことも知られています。まずは早期診断、そして早期治療につながるように検査科一同、微力ながらも地域医療に貢献していきたいと思ひます。

## 島原メディカルケアねっをご存知ですか？

地域医療支援センター

「メディカルケアねっ」とは、当院の電子カルテの情報を他の医療機関に公開するシステムです。

**目的**：島原地域の医療機関が処方・検査・画像など多くのデータを共有することで、より質の高い、安全な医療を提供することを目的としています。

**当院での情報**とは、採血の結果、撮影したレントゲンやCTなどの画像・当院で処方したお薬の内容・その他、医師の指示の内容などです。(心電図・心エコーなども)このような情報を連携病院の先生方へ公開するシステムです。連携病院の先生のところへ設置したパソコンから当院のカルテの情報を見ることができます。当日の検査結果やレントゲンの画像なども見ることができます。必要なくなれば、公開を取り消すことも可能です。

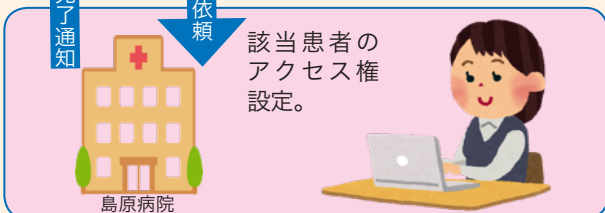


当院・連携病院の医師が診察の際、説明を行い同意書に署名を頂きます。島原病院地域医療連携室へ公開の依頼を行います。設定完了するとその日のうちに医師はカルテの情報を閲覧することができます。

設定完了通知

公開依頼

※本人が署名できない場合は代筆可能。(2親等まで)



該当患者のアクセス権設定。

**メリット**：①連携病院の先生も当院での検査や治療の経過がわかるので安心して引き続き質の高い治療を行うことができます。

②お薬の情報(内服の内容、効果)もわかるので、お薬が重複することがありません。

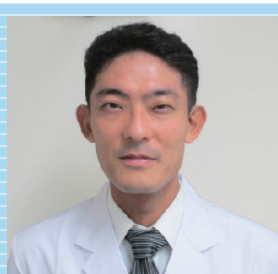
メディカルケアねっ連携病院

- 池田病院
  - 池田循環器科・内科医院
  - 稲田整形外科医院
  - 太田整形外科
  - 貴田神経内科・呼吸器科・内科医院
  - かわはら内科胃腸科医院
  - くすのきクリニック
- 口之津病院
  - 公立新小浜病院
  - 柴田長庚堂病院
  - しるの医院
  - たかお循環器内科
  - 高城病院
  - 哲翁病院
- 土井外科消化器内科医院
  - 林内科医院
  - 宮崎医院
  - 前田医院
  - 松岡病院
  - 八尾病院
  - 山崎産婦人科医院

※メディカルケアねっについてのご意見・ご要望は島原病院地域連携室へどうぞ。

## 新任医師紹介

①出身地 ②前任地 ③趣味 ④ひとこと



呼吸器内科 医師 **深堀 範**  
(ふかほり すずむ)

- ①長崎市
- ②佐世保市総合医療センター
- ③硬式テニス・登山
- ④アレルギー疾患・慢性閉塞性肺疾患(COPD)を専門としております。

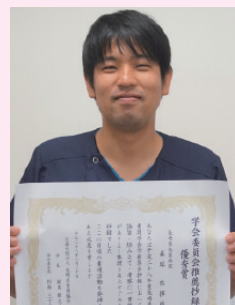


泌尿器科 医師 **平島 定**  
(ひらしま さだむ)

- ①大阪市
- ②佐世保市総合医療センター
- ③甘味めぐり
- ④島原地区の泌尿器科疾患治療への役に立てればと思っております。

## 平成28年度 長崎県看護学会学術集会にて36演題から奨励賞を 外来看護師 森塚 祐揮さんが受賞！

平成26年度より、小児科が再開となり夜間の救急外来でも小児に関わるようになりました。小児科再開後1年が経過する時期に私の看護研究の期間と重なり、どのような子どもが当院の小児科を利用しているのだろうと感じたことがきっかけで、今回の看護研究に取り組みました。たいへんでしたが研究チームのメンバーをはじめ、外来スタッフ、師長、教育委員の協力のもと看護研究を進めていくことができ、自身も「考える力」を養うことができた有意義な時間となりました。



# 脳卒中急性期におけるリハビリテーション

リハビリテーション科 理学療法士 平山 美貴

## 脳卒中とは？

脳の血管が閉塞、狭窄をおこし血液が足りなくなる脳梗塞と、脳の血管が破れてしまい起こる脳出血・くも膜下出血と大きくふたつに分けられます。

主な症状としては、意識障害、運動麻痺、感覚障害、呂律障害、嚥下障害などが出現します。

## 当院でおこなわれるリハビリテーションの取り組み

疾患の治療と同時に、肺炎など合併症予防のためのリハビリテーションを短期間に積極的に実施することが必要です。軽症であれば入院初日より理学療法士、作業療法士、言語聴覚士が介入します。理学療法では、起き上がる・座る・立つ・歩くといった基本的な動作能力の改善をサポートします。また作業療法では、食事動作・着替え・家事・トイレ動作などより生活に密着した生活動作練習を行い、日常生活を早く自分でできるようにサポートします。さらに言語聴覚療法では、話す・聞くなどコミュニケーションに必要な機能や食べる機能に障害がある方に対して言語、聴覚、摂食・嚥下の機能改善をサポートします。



口腔構音訓練・口腔の機能評価の場面



ベッドに寝ている状態でもベッドサイドでリハビリを行います。



更衣動作の訓練場面



日常動作の機能を回復させる訓練を行います。

## 病院全体での取り組み

急性期を過ぎた患者さんが他の病院へ移る際に、切れ目のないリハビリテーションが行えるよう脳卒中地域連携パスを使用し情報を共有しています。

地域の皆様に脳卒中の理解を広め、少しでも不安を取り除けるよう脳卒中市民公開講座の開催もおこなっております。今後も、島原半島の中核的施設として多くの方に充実した治療・リハビリテーションを提供できるよう努力します。

# 長崎県島原病院 外来診療一覧表

平成28年11月1日

診療科		月	火	水	木	金
脳神経外科		徳永 能治(4)(新患のみ) 野田 満(3)	徳永 能治(4) 松尾 義孝(3) 徳永 能治(脳ドック)	徳永 能治(4)(新患のみ) 平山 航輔(1)	徳永 能治(4) 野田 満(3)	平山 航輔(3) 松尾 義孝(3)
脳神経外科急患対応		平山 航輔	平山 航輔	野田 ・ 松尾	松尾 義孝	野田 満
整形外科		伊藤 茂(2) 坂上 秀和(2)	坂上 秀和(2) 白石 和輝(1)	伊藤 茂(2) 杉原 祐介(1)	伊藤 茂(2) 白石 和輝(1)	坂上 秀和(2) 杉原 祐介(1)
整形外科急患対応		坂上 秀和	白石 和輝	杉原 祐介	白石 和輝	杉原 祐介
外科	外科	蒲原 行雄(3) (消化器、一般・乳腺)	東 尚(3) (消化器、一般・乳腺)	東 尚(2) (消化器、一般・乳腺)	蒲原 行雄(2) (消化器、一般・乳腺)	井上 諭※(2) (消化器・一般)
		山口 峻 (消化器・一般)	黒島 直樹 (消化器・一般)	藤井 美緒(1) (消化器・一般) 大野 毅※(乳腺)	藤井 美緒(1) (消化器・一般)	山口 峻 (消化器・一般)
	小児外科専門外来		小坂 太一郎※(5) (第1週 14時～)		小坂 太一郎※(5) (第3週 14時～)	
外科急患対応		山口 峻	黒島 直樹	藤井 美緒	蒲原 行雄	山口 峻
内科	新患	小川 大輔 中島 聡	勝見 真悟	山西 幹夫	木下 明敏	内田 雄三
	総合内科		勝見 真悟(2)			
	血液内科	小川 大輔(2)		小川 大輔(2)	小川 大輔(2)	
	消化器内科			山西 幹夫(2)	勝見 真悟(2)	山西 幹夫(3)
	呼吸器内科	木下 明敏(4) 梅山 泰裕(2)	深堀 範(1)	梅山 泰裕(1)	木下 明敏(1)	深堀 範(2)
	循環器内科	内田 雄三(2)	松島 吉宏※(2)	松島 吉宏※	内田 雄三(3)	内田 雄三(2)
	神経内科		森 正孝※(2) (診察は☆のとおり)	貴田 秀樹※(2) (第2週13時30分～16時)		
	肝臓内科			柴田英貴※(2)		
内科急患対応	8:45～13:00	深堀 範	梅山 泰裕	内田 雄三	深堀 範	中島 聡
	13:00～17:30	勝見 真悟	小川 大輔	山西 幹夫	中島 聡	梅山 泰裕
泌尿器科		平島 定(4)	平島 定(4)	大学医	平島 定(4)	大学医
小児科		大園 恵梨子(2)	金城 勤也(2)	大園 恵梨子(2)	金城 勤也(2)	大園 恵梨子(2)
小児神経専門外来 (再診患者のみ)			原口 康平※ (第1週 10時30分～)			
小児整形外科専門外来					二宮 義和※ (奇数月第2週)	
麻酔科	麻酔科	田中 敏普(2)	柴田 茂樹(2)		田中 敏普	
	緩和ケア			酒井 武仁※(AM)	高城 昭紀※(PM)	田中 敏普(2) (第2週は休診)
放射線科		荻原 幸宏	小幡 史郎(2) 荻原 幸宏	小幡 史郎(2) 荻原 幸宏	小幡 史郎(2) 荻原 幸宏	小幡 史郎 荻原 幸宏
リハビリテーション科				伊藤 茂(運動器)		
耳鼻いんこう科		大学医(1)				大学医(1)
外来化学療法室		東 尚	木下・梅山・山西・小川・山西 (第1・2・3・4・5週)	中島 聡 (消化器内科)	梅山 泰裕 (呼吸器内科)	東 尚
ストーマ外来 (13時30分～16時30分)			東 尚			
検診					木下 明敏	

※非常勤医師

○受付時間は8時45分から11時までです。(なお、診療科によっては異なる場合があります。)

○受付時間外に受診される場合は、急患対応となります。

○医師名の右の( )は地域医療連携室取扱いの予約枠です。予約診療時間は診療科により異なりますので、事前に地域医療連携室にご確認のうえ、必ず予約していただくようお願いします。

☆**神経内科診察日 11/29、12/27、1/31、2/28、3/28**

○小児外科専門外来は、学会出張等で休診となることもありますので、連携室にお問い合わせください。

◎**小児神経専門外来は、1月は第2週となります。** ◎**皮膚科、眼科は休診中です。**

地域医療連携室(地域連携の予約担当)

内線 106、116

FAX 0957-63-6544



## 外来受診時間

午前8:45～午前11:00

受付時間外に受診される場合は、救急対応となります。  
平成26年4月7日より小児科再開しております。  
※詳しくはホームページをご覧ください。

## 休診日

土・日・祝日

年末年始(12月29～1月3日)

発行/長崎県島原病院

(広報委員会事務局:地域医療支援センター)

〒855-0861 長崎県島原市下川尻町7895番地

TEL 0957-63-1145(代表) 内線116 FAX 0957-63-6544

URL <http://www.shimabarabyoin.jp/>